

学校のこれから通信（坂下中学校区）　No.7

（発行）令和8年11月11日(水)
春日井市教育委員会事務局　学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL：0568-85-6149
Mail：n-gakko@city.kasugai.lg.jp

学校のこれから通信(坂下中学校区)では、坂下中学校区における学校統合に関するお知らせや現在の取組状況などについてお伝えします。

これまでの通信はこちら

坂下中学校区における学校統合に向けた意見交換会を開催します

「学校統合に向けた計画案」について、坂下中学校区の保護者や地域の皆様と意見交換を行います。

学校統合に向けた計画とは･･･

意見交換会や懇談会を踏まえ、坂下中学校区における学校統合のための具体的な方策やスケジュールなどを示すものです。

1　日時　　**12月6日(日)　午前10時から正午まで**

2　場所　　**坂下公民館　ホール**

3　対象　　**坂下中学校区の各学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者及び地域にお住まいの方**

お子さま同伴での参加も可能です。託児もご利用いただけます。
・託児の利用を希望される方は、12 月2日(水)までに学校教育課　新たな学校づくり推進室までご連絡ください。【連絡先:TEL：0568-85-6149　Mail：n-gakko@city.kasugai.lg.jp】
・お子さまの安全確保の観点から、申し込み期限後の託児の対応はできかねますのでご了承ください。

第4回坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会について

10月30日(金)に第4回懇談会を開催し、通学バスの運用形態や運用方法、西尾小学校の先行統合についてご説明しました。その後、それぞれの内容について構成員と意見交換を行いました。

◆ 通学バスについて

1　運用形態

学校統合による通学距離や通学時間の変化に対応するため、児童の安全確保と持続可能な運行を考慮し、最適な方法を検討する必要があります。通学バスについては、次の2つの運用形態が考えられます。

⑴ 専用バスの運行･･･ 児童の通学専用の車両を新たに運行する運用形態です。

⑵ 路線バスの活用･･･ 既存の一般路線バスを通学に活用する運用形態です。必要に応じて、ダイヤの調整や増便を行います。



第4回懇談会

○ 構成員からの主な意見

・安全面や費用などを考えると専用バスの方が良いのではないか。専用バスを運行するにあたり、運転手の問題もあると思うので、企業やプロの方にお願いするのがよい。
・専用バスと路線バスのどちらか一方に決めるのではなく、両方のよい点を組み合わせてほしい。
・通学時間帯と下校時間帯は子ども専用にして、時間外は地域の方々が利用できるものにするといったことも考えていきたい。
・バスの費用を誰が負担するかによって、路線バスと専用バスのどちらを使った方がよいか話が変わってくると思うので、費用負担をどのように考えているか明確にしながら進めてほしい。

2　運用方法

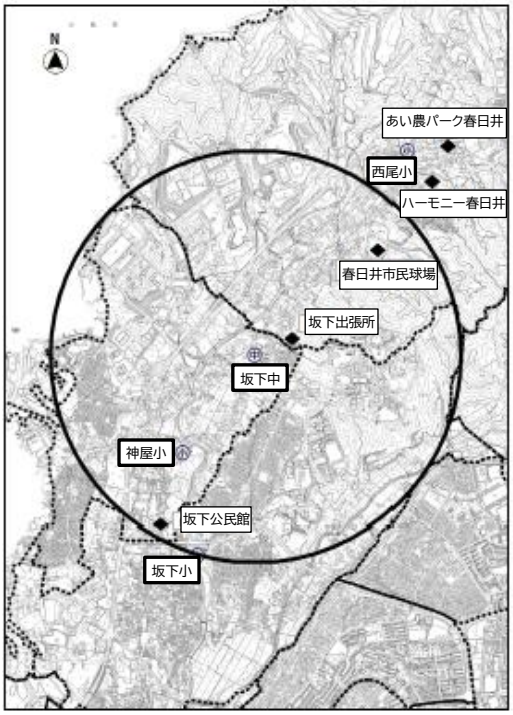
⑴　バス利用対象の範囲

ア　中学生

現在、坂下中学校の通学方法は徒歩及び自転車としていることから、基本的に通学バスの利用対象外とすることを考えています。ただし、個別の生徒の状況を考慮し必要に応じて通学バスの利用対象とします。

イ　小学生

新しい学校からの直線距離が 1.5km を超える児童を通学バスの利用対象とします。また、1.5 ㎞以内でも、通学路の坂道や危険箇所など現地の状況を考慮し、必要に応じて通学バスの利用対象とします。



坂下中学校を中心とした半径 1.5kmの円

⑵　乗降場所

乗降場所については、待機中や乗降時の児童の安全性が十分に確保できること、通学バスの駐停車に伴い、他の走行車両や歩行者への影響が生じない十分なスペースを確保できることが必要です。

そのため、坂下公民館やあい農パーク春日井などの公共施設を乗降場所の１つとして想定しています。

また、公共施設だけでは乗降場所の十分な確保が困難な場合には、周辺の民間施設の活用も含めて検討していきます。

○ 構成員からの主な意見

・子どもの体の成長を考えて、小学校3年生まではバスに乗り、4年生以上は歩くという考え方もあると思う。

・今後引っ越してくる人や家族の構成を考えるときに、バス停の近くに家を建てて、学校までバスで行くという考えが出てくる。そうするとバス停の大きさやバス停の仕組みが重要になる。現在は県道沿いに家が集まっており、今後も同様の傾向が続くとすると、例えばバス停の近くに施設をつくることができたら、そこがコミュニティの中心になる。

◆ 西尾小学校の先行統合について

8月24日開催の第3回学校づくりを考える懇談会の意見交換において、西尾小学校では令和9年度以降、一部の学年で複式学級が編成されると推定していることから、統合までの子どもたちへの対応についても検討する必要があると説明したところ、「西尾小学校と神屋小学校を先行して統合することも検討してほしい」とのご意見がありました。

こうした状況を踏まえ、9月25日に西尾小学校の授業参観にあわせて同校を訪問し、一部の保護者の方からご意見を直接お聴きしたところです。

また、より多くの保護者の皆様のお考えを伺うため、西尾小学校に通う児童及び就学予定の子の保護者の方に11月15日(日)までアンケートを実施しています。このアンケートの結果などを踏まえて、神屋小学校との先行統合について検討していきます。



○ 構成員からの主な意見

・最終的には西尾小学校に通う子どもと保護者の意見が大切である。ただ、子どもたちは統合のイメージが湧かないと思うので、子どもたちに意見を聞く前に神屋小学校で体験授業を受けるなどの機会があったほうがイメージしやすいと思う。

・西尾小学校の保護者からは、縦のつながりが非常にしっかりしており、特に困っていることがなく現状のままがよいという声と、統合を望む声の両論がある。

・神屋小学校の保護者や学校関係者としては、西尾小学校の子に来ていただくことはにぎやかになってよい。

児童生徒数推計や、坂下中学校区の懇談会の会議録及び意見交換会の会議録を市ホームページ(右に記載のQRコード)に掲載しています。

